

登録コード	A3591379	開講年度	2026					
授業科目	プレゼンテーション演習					担当教員	福山 泰治郎	
英文授業名	Presentation							
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ							
	【2022年度以前加わむ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					スライドやレジュメの作成と発表を通じて、プレゼンテーション能力を修得している		
	【2022年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					スライドやレジュメの作成と発表を通じて、プレゼンテーション能力を修得している		
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ							
	【2024年度以前加わむ対象】専門的な知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					スライドやレジュメの作成と発表を通じて、プレゼンテーション能力を修得している		
	【2024年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					スライドやレジュメの作成と発表を通じて、プレゼンテーション能力を修得している		
(2)授業で学べる「テーマ」	防災減災							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	本授業では、プレゼンテーションに必要なスライドやポスターの作成方法について解説する。また、各研究分野において、上級生のプレゼンテーションを聴講するとともに、4年次における研究計画の発表につながる文献の紹介を行う。							
(5)授業計画	1 プレゼン資料の作り方（資料配布） 2-15 他学生のプレゼンテーションを聴講するとともに、自分の研究分野に関連した文献や究計画について、資料を作成し発表する。 学期の最後に授業アンケートを行います。							
(6)自主学習の指針	自主学習では参考書の使用を薦める。また、各回で配付される発表レジュメなども活用して自主学習に役立ててほしい。							
(7)成績評価の基準	作成した資料とプレゼンテーションの構成が適切であれば「水準にある」，分かりやすい資料作成とプレゼンテーションができれば「やや上にある」，伝えるための工夫が見られれば「かなり上にある」，積極的に議論に参加する態度が見られれば「卓越している」と評価します。							
(8)事前事後学習の内容	作成した資料を使って繰り返し自主練習するとともに、資料の完成度を上げる努力をしてください。また、発表後には、質問や指摘事項，議論の内容を踏まえ、資料の改善に活かしてください。							
(9)テストやレポートの予定	なし							
(10)成績評価の方法	・作成した資料とプレゼンテーションの構成・分かりやすさ・伝えるための工夫 ・プレゼンテーションの場での質問や指摘，議論への積極的な参加 を評価の対象とします。							
(11)質問、相談への対応および連絡先	授業時間内に受け付けます。							
(12)履修上の注意	・作成した資料とプレゼンテーションの構成・分かりやすさ・伝えるための工夫をしてください。 ・プレゼンテーションの場での質問や指摘，議論への積極的な参加を心がけてください。							
【教科書】	特に指定しない。							
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術-（酒井聡樹著、共立出版） 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術（宮野公樹著、化学同人）							